社說

新内閣の施政方針

施政方針の發表は内閣死活の岐るゝ所、政黨去就の決する所なりなど政黨者流の評判は中々仰山なりしかども いよ〳〵發表して見れば唯一片の儀式演說にして是ぞとて別に捕捉す可き所なし内は國民の輿論に考へ外は列國の形勢に察して至當の處理を求むと云ふ當然の事なり列國との交誼を敦うし國權の伸暢、貿易の擴張を計ると云ふ當然の事なり軍備は財政と相俟て國力の許す限り擴張すと云ひ繁文を省き才能を擧げ官紀を振肅すと云ひ三大自由は厚く尊重す可しと云ひ財政の整理は國下の形勢に適する策を定め出入の平均を保たしめんと云ふ何れも當然の事のみ要するに言みな抽象的にして一も事實の問題に觸るゝ所なきが故に其實行如何を見ざれば施政の良否を評す可らず例へば目下の形勢に適する財政策とは如何なる策なるか國力の許す限り軍備を擴張すと云ふ其限りとは何處を指すか三大自由を尊重すと云ふ如何に尊重するか是等の問題の事實上の解釋如何を見ざれば方針演說の意味を解す可らず並し前内閣をして今日施政の方針を演說せしめなば大同小異の意見を述べん山縣侯をして總理たらしむるも亦類似の言を發せん此演說を以て直ちに松方内閣を他と別つの標準とは爲す可らず然れども亦以て弊端の間に其重ずる所を窺ふ可らざるに非ず三大自由は厚く尊重し其保障を固からしめんと云ふに依て政府は是迄よりも一層言論出版集會の自由を擴張するの意なるを察す可し繁文を省き官紀を振肅するの必要を認むと特筆するより見れば從來の施政を以て繁文の弊あり官紀嚴ならずと爲し此際或る方法を以て行政改革を行はんとの企あるは明白なる可し而して世論の最も喧すしき内閣の責任論に就て總理の說如何と云ふに帝國議會の協賛を完うするを務め上下一致の効を圖り至尊に對して大政の責に任ぜんと云ふ其文意を察するに國民の意向に從ふ可しと云ふ可し要は言說の上に非ずして實行の上に在り我輩は只管其實際の施設如何に注目せんのみ

○松方總理官邸の地方官會

今回新内閣の施政方針發表に付き召集したる地方官會議は昨日午前十時より松方總理大臣官邸に於て開會したり赤司原神奈川縣知事を除くの外は各地方官悉く出席し松方總理大臣を始め樺山、高嶋、大隈、西郷、榎本、清浦、品川、野村の各大臣及び山田警視總監、高橋警視官長、鈴木法制局長官等列れも臨席の上松方總理大臣は起て議場に挨拶を述べ演說は若干不得手なれば別に未の個條は書にて朗讀せんとて別紙に記載したる施政方針を讀上げ了りて正午一先づ休憩し午後の後午後一時再び復席し松方總理は大藏大臣の實格を以て財政に關する演說を爲したり其詳細は聞くみとを得ざるも要するに前内閣の財政策は頗る過大にして到底其儘に施行するみと能はず然し乍ら之を著しく變更するみとは處置の宜しきを得たるものに非ず又實際爲し難き處なるを以て適當の程度に迄切詰めたりと云ふにありて猶ほ今後財政の方針を述べ凡そ一時間の長きに亘れり右了りて樺山内務大臣は本日午前九時より官邸に於て訓示する旨を一同に告げ各地方官よりは一の質問も出ずして午後二時三十分頃無事散會したるよし

○施政方針の問

去る九日總理の官邸に於て臨時閣議を開き施政方針を議したる由は前號に記載したるが右の閣議は午後四時半より始まりて十二時に及びしと云へば其間種々の議論ありしを推察し得べし聞く所に依れば所謂政綱なる者の内議賛にて經營の務を致し謝躬にて補弼の職を盡し而して帝國議會の協賛を完うするを務め上下一致の効を圖り至尊に對して大政の責に任ぜんと欲するのみ云々の一項は新内閣が所謂責任内閣の端を開きたる意味を言明したるものゝ由にて即ち議會の協賛を完うし至尊に對する責に任ずべし協賛を完うせざれば至尊に對し責を負ふて引退すべしとの意味なる由にて此の項に對しては頗る議論ありたりと聞く又言論出版集會等の自由に關する條項に就ても議論有し由なるが樺山内相は餘程手强く反對論を制したる爲め萬事圓滑に纏りたるなりと云へり

○施政方針と自由黨

昨日地方官會議に於て松方總理大臣が演說せし施政の方針に就て自由黨の意見を聞くに施政の方針として別段大したものにもわらず ツマリ れ樞要り文句を並べたるに過ぎざれば之に對して黨議を定めるの、反對運動を爲すのといふが如きみとは先づ〳〵無き積りなり國家の權利を進暢して實業の擴張を企圖するといひ言論出版集會等憲法上の限り軍備の擴張を圖るといひ國力の許す限り軍備の擴張を圖るといひ言論出版集會等憲法上人民の享有すべき權利自由の保護を固くするといひ繁文を省き官紀を振肅するといひ上下一致、事に從ふといふが如き何れも我黨多年の主義と異なりたるともなきみとなれば此等の言說に對して反對するみとは先づ爲さゝる考へなり現内閣の施政に付ては前内閣の施設を復へして別に其所信を行ふみとならんと信じ我黨にては既に各部の政務調査に着手し第九議會の議決に基き取り調ふる所ありたるが現内閣の財政計畫も別に前内閣に異なりたる所なきが如く果して大に異なりたる所なしとせば來るべき第十議會に於て我黨は別段反對せざる考へなり現内閣の施設にして前第九議會の議決する所に戻るものあらば我黨は斷じて其等の點に反對するみともあるべしといへども然らざる限り無碍に反對するみとは爲さゝるべし板垣伯が内務大臣を辭したるみとに付ても東京に居るものゝみぞ其當時、多少隱蹟の色もありたれ各地方の支部よりは續々其進退の宜しきに適したるを稱賛し來りたるほどなれば今日に於て別段宣言書等を出すにも及ぶまじ我黨が第十議會に對する方針は各部の政務調査の結果を代議士會に附し議行開會の間隙に大會を開き其上にて決する筈なり云々といへり因に記す自由黨現在の代議士は併せて計百二名なりと

○施政方針と國民協會

國民協會の有力なる代議士は不が發表したる施政の方針に對しも昨日事務所に今井磯一郎、湯袋義一の四氏集會し等を圍みて所謂政綱なるものは斯の如く彼の進歩黨も斯くも意義の淺薄なる失望したるならん然れども此得るや否や是れ政界の觀物なる備云々の一項は協會が多年唱へ内閣にして之を實行しなば黨狀甚だ冷淡なり是れ必竟するに する意見未だ纏まらざる爲め

○施政方針と進歩黨

進歩黨は明日常議員會を開きて し評議する筈なるが内部の樣子 意見は概ね一致し明日の會議は を是認するの決議を爲すなら 所に一致するにあらざる以上は ざる可しと同黨員は言ひ居る

○清浦法相披露の宴會

省の高等官を始め大審院、東京 の判檢事を官邸に招待して大臣 たるが尚ほ昨日午後六時より近 氏を官邸に招き同樣の宴を開き

○川上中將の出發

盛澤員長波多野敬直氏は判事に任 出張を仰付けられたる川上參謀 夜午後十時新橋發の汽車にて 付き野津大將、山地中將を初め 同停車場まで見送りたり右一行 乘船する筈なりと

○原公使の歸京

原公使は明日横濱に の列車にて歸京し外務省の官吏

○院長と職員謀長

員謀長は豫て 控訴院長に補せられ横濱地方裁 同省書記官に任ぜられたる上

○自由黨の集會

昨日自由黨 内閣の施政方針を發表したる 既に各部の政務調査に着手し

○淺間山の鳴動

信州の淺間山 時二分少しく鳴動せしが室内に 震動を感じたるよし尤も當日は 見る能はざりしと云ふ

○向嶋の火事

向嶋の煙失 十分頃風强く砂塵を揚げし折 遂ひ失れ火事よと駈付け見れば りて濱崎町二百一番地元料理 共に有名なる言問團子事外出店 る長命寺境内へ延燒して三間四 十棟、料亭屋四軒を焼失なし たり級て前記團子屋（所有主は